

令和元年度

事業報告及び財務諸表

自 平成31年4月 1日

至 令和2年3月31日

公益財団法人 堺市公園協会

目 次

事業報告書

I 法人の概況	(3)
II 事業の状況	(6)
1. 事業の実施状況	(6)
1 - 1 普及啓発事業一覧	(7)
1 - 2 堺市都市緑化基金事業	(8)
1 - 3 緑化普及啓発事業	(10)
1 - 4 公園愛護会活動支援事業	(13)
1 - 5 花と緑の市民協働事業	(14)
1 - 6 都市緑化センター指定管理事業	(16)
1 - 7 駐車場運営等事業	(18)
駐車場概要	(20)
駐車場利用状況	(22)
2. 重要な契約に関する事項	(23)
3. 役員会に関する事項	(24)
4. 経営指標等の推移	(26)
III 法人の課題	(27)
IV 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実	(27)
V 財務諸表	
貸借対照表	(28)
正味財産増減計算書	(29)
正味財産増減計算書内訳表	(32)
キャッシュ・フロー計算書(直接法)	(38)
財務諸表に対する注記	(41)
附属明細書	(45)
財産目録	(46)
監査報告書	(48)

事業報告書

I 法人の概況

1. 設立年月日

昭和45年9月4日

平成25年7月1日 公益財団法人移行

2. 定款に定める目的

協会は、堺市の都市公園の円滑な運営及び健全な利用の促進を図るとともに、市民の公園緑地に対する愛護精神の普及啓発並びに緑化の推進に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 市民の緑化意識の高揚と緑化活動支援事業
- (2) 都市公園・緑地等の保全と多様な利活用の促進事業
- (3) その他協会の目的を達成するために必要な事業

4. 所轄官庁に関する事項

大阪府 都市整備部 公園課

5. 主たる事務所所在地

主たる事務所所在地	大阪府堺市堺区東上野芝町1丁4番地3 花と緑の交流館2階
連絡担当者	総務グループ長 増田 剛雄
電話番号	072-245-0070

(注) 上記事務所のほか、泉北事務所（南区若松台）があります。

泉北事務所は、令和2年3月31日に廃止しています。

6. 出捐者等の状況

(単位 千円)

出捐者	出捐金額	比率
堺市	1,000	100%
合計額	1,000	100%

7. 役員等に関する事項

評議員名簿

令和2年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
評議員	加我宏之	非常勤	大阪府立大学大学院教授
評議員	久保直樹	非常勤	堺商工会議所 事務局長
評議員	隈元英輔	非常勤	公益社団法人堺観光コンベンション協会 会長
評議員	長村智司	非常勤	一般社団法人フラワーズサイエティ 会長
評議員	細田茂次	非常勤	堺市農業協同組合専務理事

役員等名簿

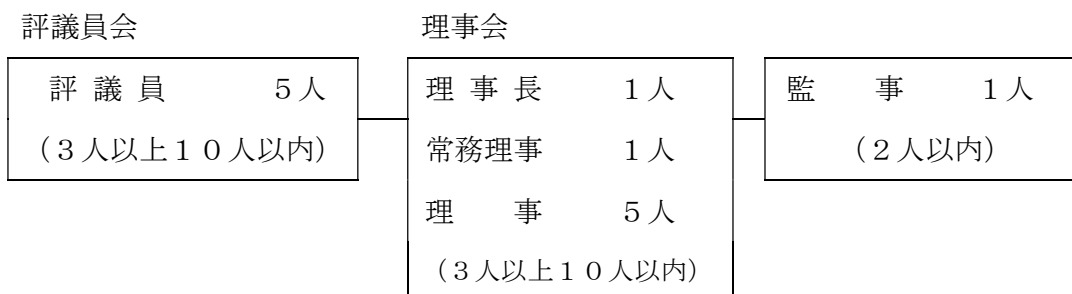
令和2年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤の別	担当職務・現職
理事	上田萌子	非常勤	大阪府立大学大学院助教
理事	大町啓之	非常勤	堺市公園愛護会会長
理事	内藤雅之	非常勤	南海電気鉄道株式会社 ブランド戦略室 広報宣伝部長
常務理事	中野昭三	常勤	事務統括
理事	中村甫	非常勤	株式会社ジェイコムウエスト 地域プロデューサー
理事長	西野彰記	常勤	
理事	森口巖	非常勤	堺市自治連合会副会長
監事	蒲生武志	非常勤	公認会計士

(注)役員に対する報酬総額は10,086千円です。

8. 職員等に関する事項（令和2年3月31日現在）

（1）組織図



事務局

事務局長（常務理事兼務）	（1人）				
総務グループ	5人	常勤	3人	非常勤	2人
業務総括担当	1人	常勤	1人		
愛護会第1グループ	6人	常勤	2人	非常勤	4人
愛護会第2グループ	5人	常勤	2人	非常勤	3人
緑化推進グループ	8人	常勤	3人	非常勤	5人
都市緑化センターグループ	3人	常勤	2人	非常勤	1人

（2）職員の状況

区分	職員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
常勤	13人	0人	50歳5ヶ月	20年7ヶ月
非常勤	15人	0人	48歳7ヶ月	2年11ヶ月
合計又は平均	28人	0人	49歳5ヶ月	11年2ヶ月

（注1）職員に対する人件費（給料手当）の総額は114,009千円です。

（注2）上記のほか、臨時雇用職員は11人です。

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

堺市においては、現状分析及び今後の予想として人口減少・高齢化が進展し、社会経済情勢が大きく変動していく中で、地方自治体の行財政運営が厳しい状況となっており、その中でも生産年齢人口の減少や超高齢社会の進展による社会保障関係費の増加が予想されるなど、今後益々厳しい財政状況が懸念される。

このような状況下で、堺市からの受託事業が殆どを占める公益目的事業においても、毎年予算が減少傾向にある。また、収益事業においても同様に減少傾向にある。

しかし、こうした厳しい状況の中で、百舌鳥・古市古墳群が令和元年7月に世界文化遺産に登録され、その後堺を訪れる観光客が急増し、当協会が管理運営する大仙公園駐車場においても増収となった。

当協会では、これらを鑑みて公園利用者の利便性を高め、かつ駐車場運営の合理化を進める。加えて公園内の自動販売機なども含め、収益事業経営の見直しの実施に向け、堺市と協議・調整を進めていく。

当協会が実施する公益目的事業では、公園愛護委員をはじめとする、市民ボランティアとの協働事業を行うなど、市民力を醸成し、市民とともに公園の維持管理を行い、緑化の普及を行うことが主な事業内容であることから、市民ボランティアの高齢化により、会員が減少していく中で、これまで通り継続した活動ができるよう、資機材支援等の充実を図り、従来の活動内容が維持できる取り組みの仕掛けづくりを進めてきた。

しかし、令和2年2月から3月においては、世界的な新型コロナウイルスによる感染症の拡大防止のため、市民との共同作業やイベント等の自粛・延期を行った。

今後も引続き、堺市に活動支援策の提案を行うとともに、次世代を担う子ども達が花・緑に関心をもつようなイベントの開催などを行い、市民の身近に緑を増やす活動として緑化普及啓発事業の拡充に努めることとする。これらをふまえて堺市の都市公園の円滑な運営及び健全な利用の促進を図るために、以下の事業に取り組んだ。

1. 堺市都市緑化基金事業
2. 緑化普及啓発事業
3. 公園愛護会活動支援事業
4. 花と緑の市民協働事業
5. 都市緑化センター指定管理事業
6. 公益事業を展開するための収益事業

事業の実施状況は次のとおりである。

1-1 普及啓発事業一覧

(イベント)

日時	場所	内容	参加者数
平成31年 4月27日 ～ 5月6日	浅香山緑道	つつじまつり	約43,500人
令和元年 5月25日 ～ 6月2日	白鷺公園	ハナショウブ	約6,300人
令和元年 6月1日 ～ 6月9日	堺市都市 緑化センター	ホテル観賞会	約9,000人
令和2年 2月29日 ～ 3月8日	荒山公園	梅まつり(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	—

(市民活動)

日時	場所	内容	参加者数
令和元年 6月2日	西区方面	第42回堺魅力探訪ウォーク	9人
令和元年 7月28日	大仙公園内 児童の森	平成の森づくりパートナーシップ運営業務(夏休み子どもイベント)	559人
令和元年 11月3日	緑化センターと 平成の森	平成の森づくりパートナーシップ運営業務(秋のどんぐり拾いイベント)	27人
令和元年 11月16日	南区方面	第43回堺魅力探訪ウォーク	20人

(後援・協賛)

日時	場所	内容	入場者数
令和元年 5月26日 ～ 6月2日	堺市都市 緑化センター	第54回堺さつき展	774人
令和元年 10月20日	大小路 シボルロード	第46回堺まつり「都市緑化キャンペーン」パレード参加	約280,000人
令和元年 10月19日 ～ 11月16日	日本庭園	第67回堺市菊花大会	12,575人

(相談・指導)

日時	場所	内容	利用件数
平成31年 4月1日 ～ 令和2年 3月31日	堺市都市 緑化センター	「緑の相談所」として、園芸全般の無料相談を実施	3,188件

(情報発信)

内容	発行部数
堺市都市緑化基金啓発機関紙「緑の瓦版」	5,000部×2回
堺市公園愛護会機関紙「みどり通信」	3,000部
堺市都市緑化センターだより「グリーンメッセ」	8,000部×6回

1-2 【堺市都市緑化基金事業】

(総事業支出額 8,043 千円)

※内事務費等 151 千円

1. 堺市都市緑化基金事業

(1) 地域緑化活動支援 (事業支出額 3,572 千円)

① みどり活動支援

地域の緑化活動者が自ら計画し実践する活動に対して、66 校区に園芸資材、肥料、用土等の資材支援を行った。また、地域のシンボルとなる場所等に花飾りを行い、花と緑のあふれる街となる一助のため実践団体に対して自主活動へと発展するサポートを行った。

・申請校区：66 校区

・支援内容：園芸資材・・・種子(秋・春)、灌水ホース、樹木(低木類)、球根等
用土・・・赤玉土、腐葉土、培養土、花の土等
肥料・・・化成肥料、害虫殺菌用薬剤等

② 記念樹配付等支援

民有地の緑化を推進すること及び緑化への意識向上につなげる目的で、市民の出生、結婚、入学、銀婚、金婚等の人生の節目を祝う記念樹として苗木(275 件)を秋・春に配付した。

・記念の種類：新築、出生、古希、還暦、入学、成婚、成人等(多い順に記載)

・記念樹の種類：キンバイカ、オリーブ、ライラック等(多い順番に記載)

(2) 活動促進 (事業支出額 3,209 千円)

① 花のボランティア活動促進

花のボランティア(花いっぱいやさかい)が種から育てた草花で地域の花飾りを行う緑化活動の支援をすることで、花と緑の美しい堺になるように、園芸資材の支援及び運営サポート等を行った。

会員数：465 人

育苗数：164, 308 株

圃場：4箇所(大仙圃場、とみおか圃場、荒山圃場、金岡圃場)

(3) 普及啓発 (事業支出額 1,111 千円)

① コンクール開催(顕彰)

市民目線で堺市内の魅力的な花や緑の景観を発掘し、より多くの市民に紹介することを目的とし、花と緑のまちを新たに広げていくことを目指すため、花と緑がいっぱいコンクールを開催した。

・応募数：213 件

入賞者 金賞、銀賞、銅賞（各1点）、特別賞（1点）、部門賞（3点）、
各区花みどり賞（7点）、カレンダー賞（12点）

② 普及啓発機関紙の発行

堺市都市緑化基金と緑の保全基金のしくみや市域で実践されている緑化推進活動等を啓発するための普及啓発冊子「緑の瓦版」を年2回、計10,000部を発行し、市内関係施設へ配付した。

1-3 【緑化普及啓発事業】

(総事業支出額 14,799千円)

※内事務費等 4,247千円

1. 緑化普及啓発事業

(1) 普及啓発 (事業支出額 4,243千円)

① 活動支援

・ 学校緑化

学校を拠点として、地域住民、保護者、学校が一つとなって取り組む緑化活動に対して、種子などの資材及び技術支援を行った。(3小学校)

対象学校：桃山台小学校、三原台小学校、福泉東小学校

・ オープンガーデンさかい

実施団体に対して、広報等の支援を行った。(8地域)

活動地域：竹城台、赤坂台、御池台、新檜尾台、美木多、檜尾、晴美台、上神谷

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・ 出前相談

市民の緑化意識を高め、地域における花と緑のまちづくりを推進するため、堺市関連のイベントや各区役所に緑化相談窓口を開設し「出前相談」を行った。

・ 出前講習

自治会や緑化に関するボランティア団体などに対し、園芸知識、関心度の向上を行っていくために講師派遣を実施した。

(35回)

・ 園芸連続講座

園芸知識の向上を目的に「園芸連続講座(入門編、応用編)」を実施した。

(各10回) 入門編：15名 応用編：31名

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10回目(閉講式含む)を中止

② 古樹保全啓発

・ 堺魅力探訪ウォーク

古樹名木や堺の史跡、古墳など歴史遺産などを訪ね歩き、環境保全への意識向上を図るため、市民スタッフと一緒に計画し実施した。

一回目 令和元年6月2日(日) 西区方面 9人

二回目 令和元年11月16日(土) 南区方面 20人

③ イベント

都市緑化センターで市内では観る機会が少なくなった「ホタル」を飼育し、観賞会を堺仁徳ライオンズクラブ、大仙校区自治連合会、堺市都市緑化センター友の会、大阪府立堺支援学校と共同で開催した。

- ・ ホタル観賞会 入場者数：9,023人
※共催：堺仁徳ライオンズクラブ

④ 交流

- ・ 花と緑のまちづくりに取り組む市民の情報交換や幅広い交流と連携を図る「花と緑のまちづくり交流会」を月1回開催した。

⑤ 各種後援、協賛

- ・ 第54回堺さつき展（後援）

と き 令和元年5月26日(日)～6月2日(日)

ところ 堺市都市緑化センター

表彰式 令和元年6月2日(日)

(公財)堺市公園協会理事長賞を贈呈(席飾りの部)

堺市都市緑化センター所長賞を贈呈(競技木整形の部)

- ・ 第67回堺市菊花大会（協賛）

と き 令和元年10月19日(土)～11月16日(土)

ところ 日本庭園

表彰式 令和元年12月1日(日)

(公財)堺市公園協会理事長賞を贈呈(特選・大菊四鉢組花壇の部、

特選・ダルマ四鉢組花壇の部、特選・福助五鉢組花壇の部)

- ・ 市主催の各区民まっりのイベントに参画した。

各区役所が主催とする区民まつりへ参画し、緑化相談コーナー及び多肉植物や草花を用いた見本花壇を作成し、緑化普及啓発に努めた。

1) と き 令和元年5月12日(日)

ところ 東区 初芝体育館前野球場

2) と き 令和元年8月17日(土)

ところ 中区 深井中学校グラウンド

3) と き 令和元年11月2日(土)

ところ 北区 金岡公園グラウンド

4) と き 令和元年11月3日(日・祝)

ところ 美原区役所及び北側広場、美原文化会館

5) と き 令和元年11月9日(土)

ところ 西区 西区役所、ウェスティ

6) と き 令和元年11月10日(日)

ところ 南区 南区役所、梅文化会館、西原公園グラウンド

7) と き 令和元年11月17日(日)

ところ 堺区 堺市役所市民交流広場

(2) 花と緑の交流館運営 (事業支出額6, 309千円)

堺市公園愛護会の活動や市民協働の緑化活動の紹介、花と緑のまちづくりに向けたさまざまな情報発信及び交流イベントを行い、緑化の普及啓発に努めた。

1-4 【公園愛護会活動支援事業】 (総事業支出額145,602千円)
※内事務費等92,467千円

1. 公園愛護会活動支援事業 (事業支出額53,135千円)

堺市公園愛護会の運営を行い、公園愛護精神の普及啓発に努めるとともに公園愛護活動の充実を図るため、活動支援として公園愛護活動に必要な資材・機材の貸出しなどを行い、愛護会が主体となって自主的に活動が行えるよう支援し、清潔で安全な利用環境を保持できるように努めた。

泉北ニュータウン地区においては、自由広場使用の受付、抽選業務を行った。

- ・ 公園愛護会総会
令和元年7月4日(木) 於：堺市産業振興センター
参加者：340人
- ・ 公園愛護委員役員会(3回)
 - 1回目 令和元年 5月21日(火) 於：花と緑の交流館 1階会議室
 - 2回目 令和元年 7月4日(木) 於：堺市産業振興センター
 - 3回目 令和2年 2月21日(金) 於：堺市都市緑化センター多目的室
- ・ 校区交流会(37回)
- ・ 愛護会イベント
 - 樹名札取付けイベントほか利用促進イベント8回
 - クリーニング運動ほか啓発イベント7回
 - 公園愛護活動パネル展ほか交流イベント1回
- ・ 清掃等協力金(1,132件、計 41,300,000円)
- ・ 清掃資材支援(延べ280公園)
- ・ 用具庫設置(17公園)
- ・ 用具庫修繕(34件)
- ・ 泉北地区内自由広場抽選応募総数(8,272通)
- ・ みどり通信(3,000部)
- ・ 共同作業(20件)
- ・ 愛護委員変更手続き(9件)
- ・ 苦情・要望等の対応(353件)

1-5 【花と緑の市民協働事業】 (総事業支出額119,811千円)
※内事務費等 61,340千円

1. 緑化推進事業

(1) 市民組織支援 (事業支出額337千円)

市民協働による緑のまちづくりを推進するため、大仙公園内平成の森づくりを「堺千年の森クラブ」と協働し、郷土種の樹木を育てたり、次世代の子どもたちに継承する環境学習として、緑の大切さなどを啓発しながら「平成の森」づくりを行った。

(2) 緑化キャンペーン (事業支出額377千円)

第46回堺まつりのパレードに参加するために、一般募集した子ども達と一緒に都市緑化キャンペーン(花自動車)で都市緑化基金や緑化の普及啓発を行った。また、参加協力した子ども達に、花と緑の親しみを感じていただくために寄せ植え講習を行い、その寄せ植えした鉢を花自動車に飾りつけた。

と き 令和元年10月20日(日)

ところ 大小路筋(熊野小学校から市小学校まで)

(3) 市民花壇等管理 (事業支出額44,785千円)

阪堺電気軌道と大道筋に挟まれたグリーンベルトにおいて、車窓や歩道等から訪れる人々へ、花と緑による「おもてなし」風景を作り出した。また、日常的に利用する市内の主要駅前等のフラワーベースやハンギングバスケット等に共同で植替えを市民、企業や各種団体(5団体)、学校等との連携・協働により実施し、花と緑のあふれる街づくりに努めた。

・ 令和元年度実施箇所

大小路筋・堺東駅・堺駅・上野芝駅・湊駅・鳳駅・深井駅・梅・美木多駅・光明池駅・堺警察署前

・ 令和元年度実施校

桃山台小学校

(4) 緑化祭運営 (事業支出額3,716千円)

都市緑化月間における緑化推進及び普及啓発・緑の保全に関する催しとして、市民やボランティア団体の協力を得て、「第62回堺市緑化祭」を開催した。

と き 令和元年10月27日(日)

ところ 大仙公園・大芝生広場

入場者数 約3,500人

内 容 記念式典(緑化功労者、基金寄付者等へ感謝状及び表彰状授与)

市民ボランティア団体によるテントブースやステージなど

(5) 花の名所イベント (事業支出額9,256千円)

市内外に広く親しまれる花の名所づくりを展開するため、「浅香山緑道のつつじ」「白鷺公園のハナショウブ」「荒山公園の梅」の開花時期に合わせて啓発イベントを開催し、緑の普及啓発及び花の名所のPRを行った。

つつじまつり

と き 平成31年4月27日(土)～令和元年5月6日(月・祝)

ところ 旧浅香山浄水場及び浅香山緑道

入場者数 約43,500人

・ ハナショウブ

と き 令和元年5月25日(土)～6月2日(日)

ところ 白鷺公園

入場者数 約6,300人

・ 梅まつり(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

と き 令和2年2月29日(土)～3月8日(日)

ところ 荒山公園

入場者数 ー

1-6 【都市緑化センター指定管理事業】

(総事業支出額 67,151千円)

※内事務費等 24,773千円

1. 都市緑化センター指定管理事業 (事業支出額 41,429千円)

都市緑化センターを訪れる市民へ憩いの場と、花と緑に関する知識・情報を提供するとともに、市民主体の花と緑のまちづくり活動を推進し、潤いと安らぎのある住みよい生活環境を実現するため、都市緑化センターの管理運営を南海ビルサービス株式会社との2者による指定管理者グループ“堺市公園協会・南海ビルサービス共同体”として行った。

都市緑化センター利用状況

年度	入場者数	緑の相談件数	講習会		展示会	
			回数	人数	回数	人数
29年度	181,767	3,445	126	2,161	43	28,260
30年度	171,263	3,565	140	2,377	51	29,101
元年度	162,297	3,188	122	2,014	42	65,671
対前年度比	95%	89%	87%	85%	82%	226%

2. 普及啓発 (自主事業) (事業支出額 949千円)

① 講習

- ・ ゆとりある花と緑のライフスタイルの提案として花や緑を使った癒しの空間演出方法を学ぶ「生活に役立つガーデンライフ教室」を開催した。(5回)
- ・ 夏休みの期間、都市緑化センター内で自然に触れることの楽しさを学ぶ体験学習会を開催した。(8回)

② イベント

- ・ 花と緑のまちづくり活動の拠点施設である堺市都市緑化センター及び花と緑の交流館において、緑を育む人との輪を広げる交流の場を提供するため、四季を通じて学習・体験・交流のできる「グリーンメッセ堺の四季物語」を開催した。(4回)

③ 体験学習

- ・ 都市緑化センターの庭園を活用し、子ども達が五感を花と緑を通して感じることのできる「キッズフラワークラブ」を開催した。(5回)

④ その他

- ・ 市民サービスとして、売店（グリーンショップ）の経営、花苗販売、ふれあい朝市
コイの餌の販売、自販機（3台）を設置し、販売を行った。

1-7 【駐車場運営等事業】

(総事業収入額125,899千円)

1. 駐車場運営等事業

(1) 駐車場 (事業収入額105,485千円)

公園利用者の便益を図るため、駐車場(5公園、13箇所)の運営を行った。

※自動精算機導入(4公園、6箇所)

※田園公園駐車場 令和元年10月閉鎖となった。

(2) 飲食物販 (事業収入額16,051千円)

① 飲料自動販売機(29公園、81台)

公園利用者の便益を図るため自動販売機の設置運営を行った。

② 古墳グッズ販売

百舌鳥古市古墳群の世界文化遺産登録を記念し、トートバッグ、クリアホルダーの販売を行った。

※販売先：大仙公園「もず庵」、近つ飛鳥博物館、堺市都市緑化センター

③ 杉風舎・売店

堺市の友好都市である奈良県東吉野村の物産展示や観光紹介等を行う「杉風舎」の管理運営を行った。

飲食物販事業収入一覧表

(単位：円)

種別	内 訳	収入金額	備考
売上手数料	自販機等売上手数料	15,499,303	
売上収入	トートバッグ、クリアホルダー	392,448	
使用料収入	杉風舎使用料収入	160,000	
合 計		16,051,751	
30年度		13,516,362	
29年度		13,897,481	

(3) 公共施設等の維持管理(工事請負事業) (事業収入額4,175千円)

各種団体より、緑地帯の維持管理業務等(剪定、除草)を請け負った。

- ・ 堺市関係(5件) 1,445,480円
- ・ その他(26件) 2,729,524円

(4) 貸し館 (事業収入額 133千円)

花と緑の交流館1階の会議室及び多目的ホールの貸し出しを行った。

(令和2年1月～3月は改修工事のため貸出せず)

貸し館利用状況

利用施設	件数
会議室	110
多目的ホール	7
計	117
30年度	164
29年度	183